

10月市長定例記者会見報告事項概要

平成29年10月23日(月) 11時00分～

1) 平成30年度予算編成方針について

- 国、県の予算編成に向けた動向は、いずれも厳しい財政状況を踏まえ、歳出の徹底した改善や、施策の優先順位の見直し等に取り組み、予算の重点化を進めることにより、諸課題の解決を図る方向性を打ち出している。
- 本市の平成28年度決算は、実質収支は約12億円の黒字であるものの、実質単年度収支は3年連続赤字となっており、財政調整基金残高は前年度から約4.8億円減少し、約48億4千万円となっている。
- 財政の健全性を判断するための指標については、実質公債費比率は前年度から0.6ポイント改善し2.7%、将来負担比率は5年連続で「比率なし」となっており、引き続き良好な状態を維持しているものの、経常収支比率は扶助費等の経常経費の増加が続いていることなどから、平成26年度決算以降上昇を続けており、財政の硬直化が進んでいる状況である。
- 平成30年度の財政見通しは、歳入面については、平成29年度の企業収益の通期見通しは増収増益であるものの、固定資産税の評価替えによる影響などにより、歳入の根幹をなす市税収入について増加を見込むことは困難な状況である。一方、歳出面については、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増や、学校改築事業などの実施が予定されていることに加えて、歳入が伸び悩む中であっても、地方創生などの政策課題に対しては積極的に対応する必要があることから、平成29年度に引き続き大幅な財源不足が見込まれる状況である。

○これらの状況を踏まえ、平成30年度の予算編成では、人口減少の克服と、活力ある社会を維持するため、地域の強みを生かした諸施策に果敢に取り組み、「学ぶなら防府、働くなら防府、住むなら防府」と実感できる、安全で美しいふるさとづくりを目指す。

また、職員一人ひとりが厳しい財政見通しの状況を認識し、部局間の連携のもと行政経営改革に鋭意取り組むとともに、事業の大胆な見直しにより予算の重点化を図り、「第四次防府市総合計画」に掲げる諸施策の着実な推進を図るものとし、次に掲げる基本方針に基づき新年度予算を編成する。

○1点目は、「環境」「教育」「観光」「高齢・障害者福祉」「子育て支援」「活性化」「防災」を重要施策として位置づけ、これまでの成果を生かしつつ、本市の魅力や強みが増すよう、シティプロモーションの視点に立った戦略性のある施策として着実に推進する。

○2点目は、特に「防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策については、単に数値目標の達成を目指すのみならず、事業効果の検証を行い、地域社会の持続的な発展に資するよう、所要の額を計上する。
また、部局をまたがる横断的な施策については、連携と調整を十分に図る。

○3点目は、大幅な財源不足が見込まれる状況であることから、事業費の積算に当たっては、全ての事業についてゼロベースで見直しを行い、必要に応じて事業の廃止・縮小・整理統合を進めた上で、所要の額を計上する。

2) 平成29年度防府市総合防災訓練の実施について

○10月28日(土)、玉祖小学校を主会場として防府市総合防災訓練を実施する。

○すおうなだだんそうたいしゆぶ周防灘断層帯主部を震源とする地震が発生、本市では最大震度5強を観測、気象台から津波警報が発表され、山間部では土砂災害が発生する恐れがあることを想定して訓練を行う。

○玉祖地域の全自治会が、津波避難訓練・すいちよくひなんくんれん垂直避難訓練を実施する。
また、ケアハウスあいおい苑、自由の杜、ライフケア高砂が連携した要配慮者搬送訓練、県防災ヘリによる孤立者吊上救出訓練、三田尻病院DMAT(ディーマツト)と消防本部や消防団の連携による消火・救助訓練をはじめ、様々な訓練を実施する。

○主会場である玉祖小学校のグラウンドでは、降雨体験、地震体験や消防はしご車の搭乗体験などの市民参加スペースも開設する。

3) 避難情報等の電話・FAX配信サービスの開始について

○防災行政無線、防災ラジオ、市メールサービス等の情報伝達手段の更なる充実を図るため、平成30年1月1日から、事前に登録された電話・FAXへ避難情報等を配信するサービスを開始する。

○対象は、視覚又は聴覚の身体障害者手帳をお持ちの方、及び75歳以上の方で、申し込み受付は、11月1日から防災危機管理課及び障害福祉課において開始する。

4) 防府競輪開設68周年記念競輪「周防国府杯争奪戦」(GⅢ) 及び国際自転車トラック競技支援競輪の実施について

- 11月2日(木)から5日(日)の4日間、防府競輪開設68周年記念競輪を開催する。
- 防府記念競輪「前夜祭」を11月1日(水)18時から天神ピアで開催する。
入場料は無料、記念競輪の展望と予想会、スピーチーズと長田真友子ライブ、来場特典もある。
- 国際自転車トラック競技支援競輪を平成31年3月15日(金)から17日(日)まで防府競輪場で開催することが決定したのでお知らせする。
- この支援競輪は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた選手の育成・強化及びその環境等支援体制を整えることを目的に平成27年度から毎年2回実施し、収益の半分を拠出することによって活動資金に充てることとしている。

5) 「^{ゆうゆう}遊々かわフェスタ ‘17」の開催について

- 11月5日(日)、佐波川本橋河川敷を会場に「^{ゆうゆう}遊々かわフェスタ ‘17」が開催される。
- 「新橋地区かわまちづくり」計画に基づき、佐波川を訪れる人々が身近に感じる憩いの場や、子どもたちの環境学習の場を提供するための整備を進めており、このイベントもこの計画の一環として、昨年度に引き続き2回目の開催となる。
- 子どもたちが遊びながら「母なる川・佐波川」の歴史や、災害発生時の危険性、魚や水生生物が生息する豊かな自然環境を感じることができるイベントとして趣向を凝らしている。

6) 観光に関することについて

○毛利博物館特別展「国宝」

11月1日（水）から12月3日（日）まで、毛利博物館で、所蔵の国宝を展示する特別展が開催される。

○11月10日（金）から12日（日）には、防府市明治維新150年事業の一環として、旧毛利家本邸において、雄大な表門や、路傍（ろぼう）庭園を流れる榊川（なぎがわ）沿いのモミジの紅葉をライトアップで演出する。

○周防国分寺の金堂がライトアップ

10月30日（月）から11月2日（木）の4日間、18時から21時までライトアップされる。

また、11月4日（土）には、「国分寺まつり」も開催される。

○月の桂の庭を2日間限定公開

11月11日（土）、12日（日）の午前9時から午後4時30分までで、御当主の解説を予定している。

○防府天満宮御神幸祭

11月25日（土）、御網代輿御発輦は午後6時。

○山頭火ふるさと館

11月25日（土）は、開館時間を午後8時まで延長する。

7) 「家庭の日」親子ふれあいイベントについて

○毎月、第3日曜日は「家庭の日」。

○防府市では、この「家庭の日」を周知するため、11月19日（日）、「家庭の日 親子ふれあいイベント」を防府天満宮春風楼付近で開催する。